

代理請求について

介護電子請求受付システムでのインターネット請求においては、代理人が事業所に代わって請求を行う代理請求を可能とする。

(例: 複数事業所を持つ事業所が本社でまとめて請求を行いたい場合に、本社を代理人として請求を行う等)

代理請求を行う場合、事業所は代理人と委任契約を結び、代理人へ請求事務を委任する。

代理人は、介護電子請求受付システムにて代理人登録及び電子証明書の発行申請を行い、電子証明書が発行された後、事業所から委任された請求事務を行う。

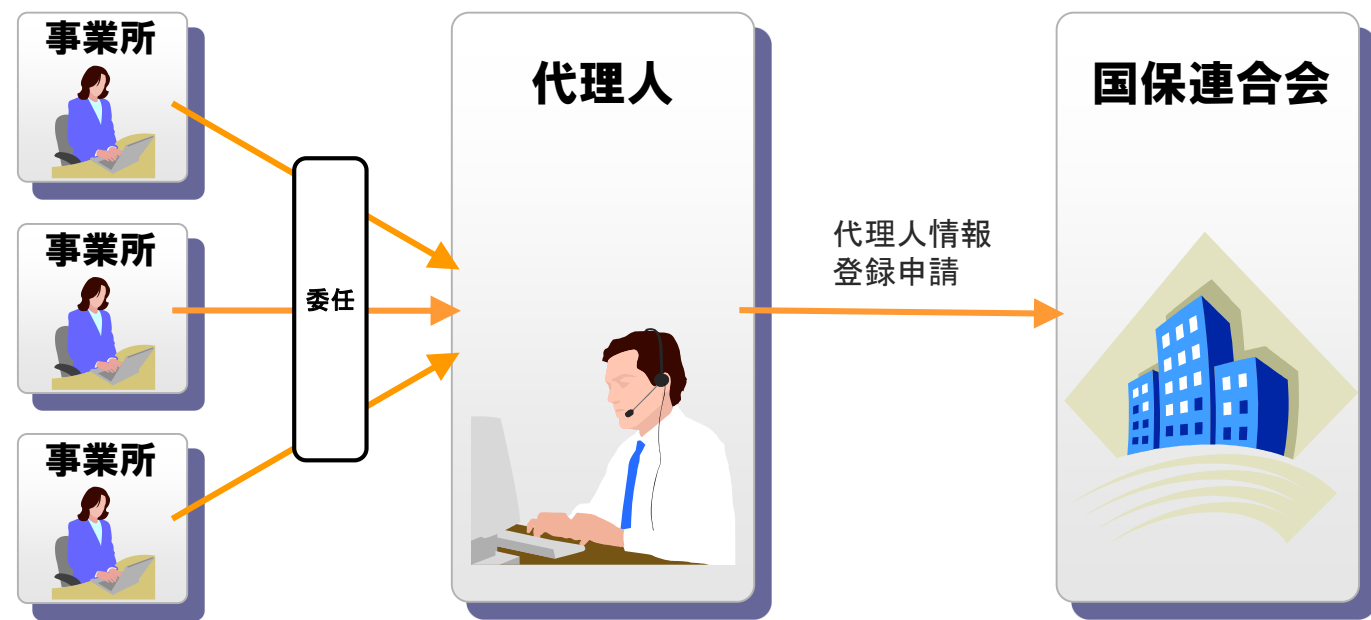
代理請求の概要を以下の図に示す。



代理人とは、事業所からの委任を受け、代理で請求事務を行う事業者等であり、以下のようなケースを想定する。

No.	代理人による請求となるケース
1	事業所から請求事務を委任された代理請求事業者等が請求を行う場合。
2	複数の事業所や支店を運営する法人等で、本店等が複数の事業所分の請求をまとめて行う場合。
3	複数の事業所番号が指定されている事業所等で、複数の事業所番号分の請求をまとめて行う場合。
4	介護保険事業所と障害者総合支援事業所を運営している法人等で、双方の請求をまとめて行う場合。

代理人は請求事務を行うにあたり、国保連合会へ代理人情報登録申請を行う。



代理人情報登録申請の流れ